

大荒田交通公園SL整備による 郷土と鉄道の関わりと地域貢献

【団体名】わらてつ倶楽部

【担当部署】都市整備部 道路公園課

【提案型】自由テーマ

【協働の形態】補助

1. 事業の目的

大荒田交通公園SLの整備および周辺の清掃を行うことで、公園を利用する子どもたち・市民へのSL保存の意義および環境整備意識の啓発を図るとともに、産業遺産としてのSLの意義と地域への貢献を図る。

2. 実施内容

SL清掃

日時：平成27年6月20日（土）

場所：大荒田交通公園

内容：SL周辺の雑草の除去作業

わらてつまつりへの協力

日時：平成27年7月25日（土）、26日（日）

会場：くるる

内容：倶楽部としては、初の主催イベント「電車ごっこ」を開催。
また、例年実施しているクイズラリーのサポートや、プラレール広場での監視業務及び当倶楽部の活動紹介。

SLの清掃・塗装と周辺の清掃

日時：平成27年11月7日（土）、29日（日）と

12月13日（日）に実施（3回実施）

場所：大荒田交通公園

内容：1回目はSL全体及び周辺に堆積した枯葉の除去やSLの下回りを中心とした高圧洗浄を実施したほか、錆による塗装劣化が車両南側で顕著となってきたため、グラインダーでの研磨作業及び再塗装を実施した。2回目は、汽笛復活に向けて汽笛本体の分解及びメンテナンスを実施し、高出力コンプレッサーを使用して鳴動試験を実施。

3回目は、運転室内を中心に高圧洗浄機で汚れを洗い流し、運転室内の見学に備えた。また、



みんなでポーズ！



いよいよ、始まる

平成27年度 蕨市協働提案事業報告書

SLまつりで復活を予定していた前照灯の試験点灯を実施。日中でも明るさが十分であることを確認し、作業は終了した。

SLまつり開催

日時：平成27年12月19日（土）10：00～14：00

会場：大荒田交通公園

内容：保育園・幼稚園児の親子連れを中心に、10時から14時の短時間にも関わらず、延べ450人が来園。SL運転室内の公開では、本物の汽笛をお客様の操作で鳴らしていただくことで、「生きているSL」を身近に感じていただいた。SL正面の記念撮影では、前照灯が点灯したことが非常に好評だった。今年は募金にも力を入れ、オリジナルグッズ（マグネットとうまい棒）を用意することで、34,000円を集めることができた。その他、昨年同様にプラレールで遊ぶコーナーの設置やドリンクの販売などを実施。今回も来訪者が絶えることなく、成功裏に終えることができた。

3. 役割分担

- (1) 団体：SL保存活動および周辺清掃の実施、啓発活動（SLまつりの企画・運営）
- (2) 市：活動へのアドバイス、公園使用許可、市広報紙やホームページへの掲載

4. 事業費と主な支出内容

- (1) 事業費：総額 274,472 円
（うち蕨市協働事業補助金 148,500 円）
- (2) 支出の主な内容
備品代、消耗品費、通信費、保険料、印刷代



ハイッ、ピース！

5. 協働による効果

【わらてつ倶楽部】

平成27年度の協働事業として実施した文化財保存活動では、車体の再塗装だけでなく、汽笛と前照灯の復活を行った。これにより一段と魅力あるSLとして価値を高めることが出来た。その結果は地域貢献の一環として実施したSLまつりにも現れ、短時間の開催にも関わらず、昨年以上の来客を集めることが出来た。（26年度は延べ300人。27年度は延べ450人）

【道路公園課】

“SLを愛する”というテーマでつながっている団体がSLの補修、清掃などの保全活動に取り組んでいただくことで、行政だけでは困難だったSLの整備・維持管理ができたことが協働による効果であった。

6. その他の成果・感想・今後の課題など

【わらてつ倶楽部】

会員を広く募集し、増やしていきたい。またSLまつりへの協力をすすめていきたい。大荒田交通公園のSL前の柵を開閉式にしていきたい。

日本各地で保存SLの老朽化が問題になり始め、廃棄や譲渡が検討される中、蕨ではSLを主体とした祭りが開催されることは、全国的にも胸を張れることと考える。今後も会員を広く募集し、増やしていくことで、恒久的な保存活動の継続やSLまつりの協力を進めたいと思う。なお、平成28年度の活動としては、保存活動やSL祭り開催のほかに、SL前方の柵を開閉式に変更することでSL公開時の安全性を高める予定。

【道路公園課】

鉄道ファンだけではなく、公園利用者や地域住民にも楽しんでいただける内容になっていた。今後もSLまつりを地域ぐるみで盛り上げるために、よりイベント内容を向上していただくとともに、告知方法などを再度検討する必要がある。



色々な機械があるね